

# 私学振興プラン2015の概要

策定趣旨	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 大分県長期総合計画、地方創生等への対応</li><li>■ 中学卒業予定者等の減少対策</li></ul>
策定主体	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 各私立中学・高等学校教職員14名によるプロジェクトチームを結成し、大分県私立中学高等学校協会が策定</li></ul>
計画期間	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2020年（平成32年）度を目標年度として2015年（平成27年）度に策定</li></ul>
私学の強み	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 特色ある教育への取組（進学・就職・文化・スポーツ）</li><li>■ 中高一貫、宗教教育、看護等専門教育等柔軟な対応</li></ul>



2020年 に向けた ビジョン	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 公立学校とともに公教育の一翼を担い、各学校が建学の精神に基づく特色ある教育活動を積極的に展開しながら、多様化する県民の要請に応える個性的で魅力あふれる学校づくりを進めていく。</li></ul>
-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 私学振興プラン～大分県私立学校のめざすもの

生徒一人ひとりの心の奥底には、自分を見つめ、よりよく生きようとする願いがあります。

大分県の私立学校には、それぞれ創立者の思いと建学の精神があり、その思いを根底に生徒一人ひとりとともによりよく生きようとする教職員がいます。

「人が人を育てる」、私学の原点に立ち返り、右の4本を私学振興プランの柱として、共通の取り組みを行い、さらに各学校が個性を磨いてきたいと考えています。

## 1 個性豊かな教職員の資質向上

- ・ 協会独自の研究発表及び研修企画
- ・ 学校独自研修企画（福德等）
- ・ 資格取得援助制度検討（岩田）
- ・ 生徒による授業評価、公開授業週間の実施（東明）

## 2 生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる学校づくり

- ・ 各学校から生徒を選抜し、イベントの企画広報実施（私学フェスタ等）
- ・ 県内外国人による「海外郷土料理チャレンジ大会」の実施（楊志館）
- ・ おもてなしリーダー養成（溝部学園）
- ・ 社会貢献（藤蔭）・地域振興（柳ヶ浦）

## 3 生徒の個性を光らせ、長く見守るキャリア教育の推進

- ・ ファシリテーション、コーチング研修等の実施
- ・ 3年間通したキャリア構築（大分）
- ・ 宗教教育による心の教育（東九州）
- ・ SPH看護人材育成（昭和学園）
- ・ ライン制度によるキャリア体験（文理）
- ・ 「7つの習慣」教育（竹田南）

## 4 グローバル・ICT化に対応した教育の推進

- ・ 英語プレゼン大会の実施
- ・ スマホ・タブレット活用授業検討チーム設置
- ・ 中高一貫教育を活用したグローバル教育の実施（岩田、大分、東明、明豊）
- ・ 全生徒への情報教育（国際情報）

# 私学振興プラン2015

平成28年1月  
大分県私立中学高等学校協会

## はじめに

大分県の私立中学校高等学校は、現在、中学校4校、高等学校14校が活動し、そこに通う生徒数（中高、通信制、専攻科を含む）は、約9,700人を数えます。

大分県私立中学高等学校協会は、昭和23年の新制高等学校への移行に伴い、同年9月に当協会の前身である私立中学高等学校連盟が結成され、昭和38年に現在の名称の協会となりました。当協会では、私立中学校高等学校の振興、充実を図ることを目的に教職員の研修等の事業活動を推進しています。

私立学校は、創立者が掲げた「建学の精神」に基づき、校風や特色を活かして、多様化する生徒達の個性を尊重しながら、一人ひとりの進路にきめ細かく対応した教育活動を実践してきました。その結果、中高一貫教育や体験学習、進路に応じたコース制、スポーツ芸術等の活躍など、私立学校独自の教育方法により、数多くの人材を輩出してまいりました。

しかし、一方で県内中学校卒業者数の減少、就学支援金制度の創設、高大接続改革の検討など、私立中高を取り巻く状況は大きく変化しています。

さらに近年、情報社会が飛躍的に進展し、社会のグローバル化が加速し、国際競争が激化し続ける中において、グローバルな人材育成が不可欠であり、今こそ私立中高が公教育の一翼を担う存在として、先導的な役割を果たすべきであると強く感じております。

そこで、大分県の私立中学校高等学校が特色のある教育を実践し、個性豊かで学び続ける力のある人材を育成していくために、協会として中期のビジョン及びビジョンを実現するためのアクションプランを「私学振興プラン2015」としてまとめました。

少子高齢化時代を迎え、国や地方の財政状況も逼迫する中、私立学校の学校運営は大変厳しいものがありますが、生徒達が安心して通える教育環境を提供していけるよう、各学校が切磋琢磨し、協会としても緊密な連携を図り、私学振興に向けて全力を尽くす所存でありますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

平成28年1月

大分県私立中学高等学校協会会長 小山 康直

## 目次

序章	私学振興プラン策定の趣旨	1
第1章	私立中学高等学校の現状と課題	2
	1 私立中学高等学校を取巻く環境	
	2 現在の取り組み	
	3 これからの私立中学高等学校のあり方	
第2章	共通ビジョン	6
	1 私学振興プラン4本の柱	
第3章	各学校の取り組み	12

### 【参考資料】

大分県私立中学校・高等学校の開校年等

## 序章 私学振興プラン策定の趣旨

大分県の私立学校が建学の精神に則り特色のある教育を実践し、ひいては、個性豊かで学び続ける力のある人材を育成していくため、各学校及び私立中学高等学校協会として、2020年を目途とした中期のビジョン及びビジョンを実現するためのアクションプランを策定する。

### 【参考】

#### 【大分県長期総合計画（2015～2024）】

##### 魅力ある私立学校づくりへの支援

- ・ グローバル化や情報化など、社会の変化に柔軟に対応することができる人材の育成への支援
- ・ 学力の向上、キャリア教育（資格取得）の推進、スポーツ・文化活動の振興、不登校生の受け入れ、看護・調理その他の特色ある学科の設置など、魅力ある私立学校づくりの推進
- ・ 教育条件の維持向上や保護者の経済的負担の軽減、経営の健全性の確保などの自主的な取り組みの促進

## 第1章 私立中学高等学校の現状と課題

### 1 私立中学高等学校を取巻く環境

#### (1) 少子化の進展

我が国の年間の出生数は、第2次ベビーブーム期（昭和46年～49年）の209万人から減少に転じ、平成25年には103万人にまで落ち込んでいます。

県内でも、中学卒業生数の減少が、私立高校の入学者数に与える影響は大きく、平成22年3月卒業生の11,891人から平成27年3月卒業生の10,573人へと6年間で11.1%も減少し、それに伴い、私立高校の入学者数及び生徒数も減少しています。

今後もさらに中学卒業生数が減少することが見込まれ、私立高校がこれまでどおり入学者を確保するためには、相当の努力が必要です。

#### 大分県の中学卒業予定者数（見込み）

（単位：人）

平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月
10,573	10,719	10,268	10,300

※「学校基本調査」（文部科学省）の現在の県内小中学生数から推計、今後の転入・転出は考慮していない。

#### 大分県の私立高校生徒数（全日制）

（単位：人）

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1年生	2,942	2,940	2,867	2,930
2年生	2,715	2,810	2,784	2,705
3年生	2,573	2,628	2,714	2,689
計	8,230	8,378	8,365	8,324

県私学振興・青少年課調べ

#### (2) 経済情勢の変化

非正規雇用割合の増加など、社会を取り巻く雇用環境が大きく変化する中、高校生の就職事情もその影響を受けており、私立高校ではこれまで以上に地元の就職情報等を的確に収集し、臨機応変に生徒に提供することが求められています。

## 大分県の高等学校卒業（予定）者の就職（内定）状況

（単位：％）

区分	平成 24 年 3 月	平成 25 年 3 月	平成 26 年 3 月	平成 27 年 3 月
公立	98.7	98.5	98.6	98.9
<b>私立</b>	<b>96.8</b>	<b>94.6</b>	<b>96.7</b>	<b>98.3</b>
公私計	98.3	97.7	98.1	98.8

県私学振興・青少年課調べ

### (3) 地方創生

平成 26 年 12 月 27 日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の 2. 政策パッケージ、(2) 地方への新しいひとの流れをつくる(ウ) 地方大学等の活性化の中で、「学校を核として、学校と地域が連携・協働した取り組みや地域資源を生かした教育活動を進めることにより、全ての小・中学校区に学校と地域が連携・協働する体制を構築するとともに、地域を担う人材の育成につながるキャリア教育や、地域に誇りを持つ教育を推進する」と述べられています。

本県においても、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくためには、学校を核とした地域活性化や生徒が地域に誇りを持つ教育の強化など私立学校の担う役割がますます重要となってきています。

## 2 現在の取り組み

私立学校を取り巻く環境が厳しさを増す中、各学校は、それぞれ特色を活かして以下のような様々な取り組みを行っています。

### (1) 特色ある教育への取り組み

建学の精神に基づき、中高一貫教育や宗教教育のほか、スポーツコースの設置や部活動の推進、看護学科等の職業系学科の設置など、多様なニーズに対応するための特色ある教育に取り組んでいます。

### (2) 進学への取り組み

中高一貫教育など独自のカリキュラムを取り入れたり、特進クラス等を設置するほか、私立学校全体で進学に向けた特別講習を実施するなど、生徒が希望大学等へ進学できるよう取り組んでいます。



- (3) 就職への取り組み  
就職に対応するための職業系学科の設置、看護師、調理師、自動車整備士等資格取得の促進、インターンシップやマナー教育、社会人による講義等キャリア教育の推進が行われています。
- (4) 地域との交流  
地域住民・団体等との連携を図るため、イベントや学校施設の開放、ボランティア活動等に積極的に取り組んでいます。
- (5) 不登校対策等  
不登校傾向にある生徒等に対しては、きめ細かな対応を期待されており、教職員やカウンセラーによる保護者も含めた相談援助や家庭訪問を実施するなど、積極的に取り組んでいます。
- (6) 教職員の資質向上  
生徒や保護者の多様なニーズに対応するため、学校評価や保護者に対するアンケート調査、教職員の資質向上のための研究授業や独自の研修を行っています。
- (7) 学費等経済的負担に対する支援  
生徒の就学を支えるため、授業料等に対する経済的支援として授業料減免や就学支援金、特待生・奨学金制度等を実施しています。また、授業料以外の負担軽減措置として、奨学給付金が県から支給されています。
- (8) 私立中学高等学校協会としての取り組み  
教職員の資質向上及び教育条件の改善に努めるとともに、「私学フェスタ」や「大分県私立高等学校体育大会」等を開催することにより、私立学校全体の活動状況を広くアピールし、私学教育の振興に努めています。

(具体的な取り組み)

- ① 教職員の資質向上に向けた研修の充実  
大分県私学教育研修会をはじめ、新任教職員人権教育研修会、人権教育指導者等研修会、事務職員研修会、国公立大学合格者増強セミナーを開催するなど教職員の資質向上に努めています。

②協会としての情報発信力・広報力強化

大分県私立中学高等学校協会のホームページを運営し、入試、体験入学・学校説明会の情報など学校情報を発信しています。

③私学フェスタ・体育大会の充実

毎年、夏期休暇中に私学フェスタ及び私立高等学校体育大会を開催し、私学が一丸となった魅力を県内中学生等に発信しています。

3 これからの私立中学高等学校のあり方

(1) 期待される役割

私立学校は、公立学校とともに公教育の一翼を担い、各学校が建学の精神に基づく特色ある教育活動を積極的に展開しながら、多様化する県民のニーズに対応してきました。今後、さらに少子化に伴う生徒減少期にあっても、さまざまな課題を克服しつつ、経営基盤の維持・強化を進め、県民の要請に応える個性的で魅力あふれる学校づくりを進めることが期待されています。

(2) 克服することが求められる課題

①教職員の人材確保・育成

教育の質を維持・向上させるためにも、教職員の人材確保及び資質の向上に常に取り組んでいく必要があります。

② 生徒・保護者・地域から選ばれる学校づくり

現在、所有している資源（人材、施設、情報等）を最大限に活用しながら、既存の学科・コース等の見直し、検討をすすめ、それらの魅力ある学校づくりに向けた取り組みを積極的に地域に情報発信していくことが求められています。

③ 教育環境

学校の施設設備の整備のうち、特に耐震化については、生徒の安全にかかわることであり、また、学校は地域の防災拠点となりうるという観点からも緊急に取り組むべき課題です。

④ 長期的な視点による経営

中長期的な視点で魅力ある学校づくりを進めるために、学校の自助努力による経営基盤の維持強化を進めるとともに、教育内容等に関する情報公開を行っていくこと、また私立学校間等での連携や相互協力などの検討も必要です。

## 第2章 共通ビジョン

生徒一人ひとりの心の奥底には、自分を見つめ、よりよく生きようとする願いがあります。大分県の私立学校には、それぞれ創立者の思いと建学の精神があり、その思いを根底に生徒一人ひとりに寄り添いよりよく生きようとする教職員を中心とした人材がいます。「人が人を育てる」私学の原点に立ち返り、次の4本を私学振興プランの柱として、共通の取り組みを行い、さらに各学校の個性を磨いてきたいと考えています。

### 1 私学振興プラン4本の柱

#### ① 個性豊かな教職員の資質の向上

学校における教育活動の成果は教職員の資質能力に負うところが極めて大きく、教職員の資質能力向上は極めて重要な課題です。

これからの時代、教職員に求められる資質は、実に多岐にわたります。本来の教育活動に関しては、教育内容の変化に伴い、新しい専門知識や指導方法の開発などスキルアップが求められます。このため、社会の要請に合った研修を企画することはもちろん、社会経験を積む機会の提供や、日頃の研鑽の成果を顕彰し教職員のモチベーションの向上を図る取り組みなどを推進することが必要です。

#### 【大分県私立中学高等学校協会の取り組み】

大分県私学教育研修会をはじめ、新任教職員人権教育研修会、人権教育指導者等研修会、事務職員研修会の開催は言うまでもなく、九州地区や全国の私学組織が実施する研修会に積極的に参加するなど教職員の資質向上に努めていきます。

また、県教育センターが実施する研修にも全校が積極的に参加できるよう努めていきます。

さらに、協会独自の研究発表や研修企画を行い、時代の変化等に対応した人材育成を図ることとします。

#### 【各学校での取り組み例】

例えば、福德学院高等学校では、人権教育、事例研究、仕事の効率化などの研修を独自に実施し、教職員の資質向上を図っていきます。

また、岩田高校では、教科指導やその他教育活動等で有用な資格（コーチング・各種部活動指導員等）の取得援助制度を検討していきます。また、東明高校では生徒による授業評価や公開授業週間など教員研修の充

実を図っていきます。

② 生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる学校づくり

生徒達が、将来の夢や希望の実現に向けて、個人個人の持つ多様な能力、個性、興味・関心に応じた教育を、主体的に選択できる環境を整備することは喫緊の課題です。そのため、基礎学力をしっかりと身につけさせるとともに、将来を設計できる力や社会環境の変化に適応できる力を育むことを基本とし、その上で、進学に必要な学力や専門的な知識・技術の習得、スポーツや芸術文化などの個性や能力を伸ばすことができる、多様な教育メニューの提供、拡充に取り組むことが求められます。さらに、OECD（経済協力開発機構）が、子ども達に必要な能力の一つとして「多様な社会グループにおける人間関係形成能力」を挙げているように、コミュニケーション能力の育成が求められています。

【大分県私立中学高等学校協会の取り組み】

私学フェスタなど協会が中心となって行うイベント等について、各学校から選抜した生徒等によりプロジェクトチームを結成し、イベントの企画から広報まで体験させる試みを実施します。

【各学校での取り組み例】

楊志館高校では、県内在住外国人による「海外郷土料理チャレンジ大会の実施」等地域との連携を図っていきます。また、溝部学園高校では、おもてなしのリーダーとしてMリーダー育成プログラムを実践していきます。藤蔭高校では、保護者等の協力を得て20年以上継続している休眠衣料の東南アジア支援物資輸送活動を引き続き実施していきます。柳ヶ浦高校では地域に古くから伝わる伝統行事を高校生の方で継承させるなど地元から必要とされる学校として地域振興へ貢献していきます。

③ 生徒の個性を光らせ、長く見守るキャリア教育の推進

近年の産業・経済の構造的変化や雇用形態の多様化・流動化をはじめ、昨今の厳しい雇用情勢を背景に、高校生の就職環境は大変厳しい状況となっています。こうした中、高等学校卒業後に就職を希望する生徒にとどまらず、早くから働くことへの関心や意欲を高めるほか、社会生活上

の基本的なマナーやコミュニケーション能力など、社会人・職業人としての基本的な能力を身につけることがこれまで以上に求められています。

そこで、生徒の意思等に基づく選択・決定を重視しながら、就職指導にとどまらず卒業後の人生設計を含めたキャリア教育の推進、インターシップの一層の活用など学校におけるキャリアプランを充実するとともに、多様な主体が実施する体験活動等に教職員・生徒が積極的に参加することにより、社会人としての力を養成していきます。

#### 【大分県私立中学高等学校協会の取り組み】

教職員向けのファシリテーション、コーチング研修等を実施します。

#### 【各学校での取り組み例】

大分高校では3年間通したキャリア教育の構築を図っていきます。また、東九州龍谷高校では、宗教教育を通じた「しつけ教育」を徹底するとともに、若者にもわかりやすい宗教教育活動を工夫していきます。

昭和学園高校では全国私学で初めて指定されたSPH（スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール）としての看護人材育成を図っており、その成果を他の学科や他校の看護学科へも還元できるよう努めていきます。日本文理大学附属高校では1年次に将来のキャリア設計を考え、2、3年次に体験できるライン制度を実施していきます。竹田南高校では、生徒の自主性・やる気を引き出し継続させる「7つの習慣」教育プログラムを導入します。

#### ④ グローバル・ICT化に対応した教育の推進

経済等のグローバル化、急激な情報化社会の進展を背景に、実用的な英語表現力及び国際的教養を身につけるとともに、情報リテラシーに長けた次世代リーダーを育成する必要があります。

そのため、留学生等との実践的な交流事業を実施するほか、情報リテラシーを身につけるため、例えば、生徒同士で議論や発表をしたり、遠隔授業で海外の大学等と交流するなどの工夫した取り組みが求められます。

#### 【大分県私立中学高等学校協会の取り組み】

留学生などを審査員にした英語プレゼン大会の実施を検討していきます。また、スマホやタブレットを活用した授業（遠隔授業、反転授業

等)に関する検討チームを設置し、各学校の特性に応じて導入を検討していきます。

**【各学校での取り組み例】**

岩田高校、大分高校、東明高校、明豊高校では、中高一貫教育のメリットを活かし、英語ディベート大会、英語劇の開催・参加や海外学生との交流等により実践的なグローバル教育を展開していきます。

また、国際情報高校では ICT 人材・設備を活かし、全校生徒を対象とした情報技術検定の受験、ネットモラル教室などを開催していきます。

## 各私立学校の特色

	学校名	建学の精神	生徒数27.5.1 現在	学 科	主な運動部活動	主な文化・芸術クラブ
1	岩田中学校 岩田高等学校	Festina lente 一ゆっくり急げー	中学 294 高校 282	普通科 (IWATAコース) (APU・立命館コース)	軟式野球 サッカー バスケット 剣道	ギター 書道 歴史研究 家庭
2	福德学院高等学校	実学を重んじ、 自立できる人間の育成	426	普通科 健康調理科 こども教育科 トータルビューティ科	なぎなた(女子) テニス(男女) 剣道	茶道 演劇
3	大分中学校 大分高等学校	文武両道	中学 221 高校 968	普通科 商業科 自動車工業科 自動車工学専攻科	野球 サッカー 剣道 ハンドボール ゴルフ	吹奏楽 書道 放送 弁論
4	楊志館高等学校	広く産業経済界に有為な人材を 育成し個性豊かな子弟を送り出 す	979	普通科 福祉科 商業科 調理科 工業科	陸上 野球 ソフトテニス 相撲 柔道 剣道 カヌー	邦楽(太鼓) ボランティア
5	向陽中学校 大分東明高等学校	Where there is a will. there is a way. 一意志あるところに道ありー	中学 117 高校 1948	普通科 商業科 看護科(5年一貫) 看護教養科	アーチェリー 駅伝(男女) ラグビー バドミントン	バトン 吹奏楽 コーラス ESS
6	大分国際情報高等学校	社会に貢献できる情報産業技術 者並びに無縁従事者の育成	339	情報通信科 情報電子科	ハンドボール 硬式野球	演劇 ボランティア
7	明豊中学校 明豊高等学校	真理はわれらを自由にする	中学 130 高校 536 通信 121	普通科 看護科(5年一貫) 通信制 普通科	野球 ソフトテニス(女子) 卓球(男女) バスケット(女子) テニス(女子)	ESS チア
8	別府溝部学園高等学校	恭敬・親和・自立 原石は磨かれ未来に輝く	564	普通科 食物科 看護科(5年一貫)	卓球 陸上(男子) アーチェリー 少林寺拳法	弁論
9	東九州龍谷高等学校	真実を求め、真実に生きん	676	普通科 食物科 衛生看護科	バレーボール ライフル射撃 卓球 剣道 空手道 相撲 柔道 軟式野球	吹奏楽 インターアクト 宗教・聖歌隊 チアリーディング アニメ 将棋
10	昭和学園高等学校	努力精進 明朗融和 感謝奉仕	635	普通科(県下唯一の製菓衛 生師コースを含む) 調理科 福祉科 看護学科(5年一貫)	バドミントン ソフトボール 剣道	バトン 吹奏楽 詩吟
11	藤蔭高等学校	～鋭きも鈍きも共に捨て難し 錐 と槌とに使い分けなば～	高校 266 通信 38	普通科 情報経済科 通信制 普通科	硬式野球 フェンシング バスケットボール(女子) 陸上	吹奏楽 インターアクト
12	日本文理大学附属高等学校	産学一致	436	普通科 商業科 情報技術科 機械科	駅伝(男女) レスリング	詩吟 吹奏楽
13	柳ヶ浦高等学校	1.人として豊かな心 2.人生を生き抜く力 3.社会に貢献する力	593	普通科 看護学科(5年一貫)	硬式野球 サッカー(男女) 柔道・空手道(男女) バスケットボール(男子)	弁論 プラスバンド JRC
14	竹田南高等学校	幸福な人間をつくる	138	普通科	—	新聞 弁論

	学校名	ビジョン	ビジョン達成に向けた具体的な取組	取組の主な内容
1	岩田中学校 岩田高等学校	現代に求められる「生徒力(学力・語学力・企画力)」の養成 生徒と共に「教員の(教科的・人間的)個性」を伸ばす学校づくり	(IWATA)医進クラス設立/高3コース再編 (A・立)ディベート大会参加/海外学生との交流会 (教員)研究会・合評会の実施/校外セミナー参加 教育活動に有用な資格・免許の取得援助	中高一貫教育(IWATA) 高大連携プログラム(A・立)
2	福德学院高等学校	自立できる生徒の育成 信頼され、選ばれる学校づくり	・個性を育て、社会性を身に付けるキャリア教育 ・生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる学校づくり ・各種メディアを活用した学校情報の発信	検定・国家資格実績 大学・短大・専門学校との連携 行事の充実
3	大分中学校 大分高等学校	在校生が充実した学校生活を体感でき、 小・中学生が進学したくなるような学校になる。	・生徒が躍動する日常の創造 ・生徒の人間性の向上 ・10年後の学校像を見据えた行動指針	中高一貫教育 グローバル教育
4	楊志館高等学校	実学教育 行きたい学校づくり 徳育と教務・進路・指導の連携	・実学教育の推進 ・中学生にとって行きたい学校、地域に開かれた学校づくり ・継続した徳育教育の推進・強化	徳育教育 専門学校との連携
5	向陽中学校 大分東明高等学校	スクールカルチャー 東明・向陽文化の確立	・コース制の強化 ・進路実績の向上 ・知・徳・体の育成	中高一貫教育を含めた進 学指導
6	大分国際情報高等学校	夢の実現と豊かな人間性をもった、社会 が求める情報産業技術者として、自己が 目指す進路を切り拓く	・情報系専門高校としての教育の充実 ・生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる学校づくり ・キャリア教育の充実 ・グローバル・ICT化に対応した教育の推進	先進のIT教育
7	明豊中学校 明豊高等学校	地域に愛され、信頼され、選ばれる学校 づくり 国際社会に対応できる人間力、論理力、 表現力を育むシステム構築と実践力の ある学校	・英語の明豊(グローバル人材の育成) ・学力向上、進路支援事業(キャリア教育の継続) ・不登校対策、学校への定着対策 ・教師力向上	小中高大一貫教育 「英語の明豊」
8	別府溝部学園高等学校	溝部ブランドを確立し、県下及び生徒・保 護者から必要とされ、「選ばれる」学校	・ランクアップを目指した進路指導 ・部活動の更なる活性化 ・自主自立できる生徒の育成	即戦力となる人材の育成 短大との連携 目標「おもてなし日本一」
9	東九州龍谷高等学校	ONLY ONE de No.1	・生徒満足 ・教員パワーアップ ・保護者・地域満足	献血・ボランティア推進指定校 NUM-NUM GIRLS 大分県教育の日学校賞
10	昭和学園高等学校	地域・生徒・教員それぞれに開かれた学 校、地域の人材要請に応える体制・力を 活かし、地域に必要な存在であり続ける	・地域と学校間の緊密な連携の構築と開かれた学校づく り ・社会人基礎力を備え、地域社会に貢献できる人材～ SPH指定校としての看護人材育成を学校全体の取組に も応用～	スーパー・プロフェッショナル・ ハイスクール(全国の私立高校 で初めての指定校)
11	藤蔭高等学校	安心安全でアットホームな環境の中、生徒 の未来に希望が持てる進路保障の確立、学 業だけでなくスポーツやボランティアを通して 地域社会に貢献できる開かれた学校づくり	・生徒の行く末を見守るキャリア教育の推進 ・生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる学校づくり ・各種メディアを活用した学校情報の発信	高大連携教育 保育コース 海外ボランティア
12	日本文理大学 附属高等学校	前向きで自立した生徒の育成	・高大連携 ・キャリア教育推進 ・人間力の育成	「NBUキャリア教育」制度 高大連携教育
13	柳ヶ浦高等学校	特色ある私学として、地域に愛され貢献 する学校づくり	・地域・生徒・保護者から信頼され、選ばれる学校づくり ・教育環境の充実 ・教職員全体のスキル向上	吉用学園内(幼稚園・高 校・専門学校の連携)
14	竹田南高等学校	人間教育の竹田南 生徒と職員が誇りを持って邁進する学校 定員100名の確保	・寮の改革(全寮制も視野に入れる) ・人間力をつける生徒指導の強化 ・「7つの習慣J®」の教育プログラムの導入 ・アクティブラーニングの導入	食育 「7つの習慣J®」





## 岩田中学校・高等学校

### 【建学の精神】

Festina Lente ～ゆっくり急げ～

### 【ビジョン】

現代に求められる「生徒力（学力・語学力・企画力）」の養成  
生徒と共に「教員の（教科的・人間的）個性」を伸ばす学校づくり

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

#### 1 生徒の学力・語学力・企画力を育成する教育活動を達成する。

- ① 医進クラスを設立（H27～）し、独自のプログラムを通して医療への理解を深めることで生徒の学習意欲を喚起し、進学実績に結びつける。
- ② APU・立命館コース（H20～）の活動や実績を広く紹介し、県内のみならず県外・国外の生徒及び保護者への知名度を高める。
- ③ 上記コースの英語ディベート大会への参加・海外学生との交流会など、国際的視野を持った生徒育成のプログラムを充実させる。
- ④ 学年末の考査を「Stage Up Test」と位置づけ、1年間の授業内容を範囲とした理解度・達成度を測ることで、日々の学習への意識を高める。
- ⑤ 性教育プログラム（WYSH）の継続的な実施により、身体と心のバランスの取れた、自己管理意識の高い生徒を育てる。
- ⑥ 高3次のコース分けを再編し、国公立大学進学率の向上をはかる。

#### 2 教員としての「力」を検証し、さらなる研鑽・努力を奨励する。

- ① 教科毎の入試問題研究・合評会・研修／セミナーへの派遣を活発化する。
- ② 教科指導やその他教育活動で有用な資格（コーチ・指導員等）の取得を援助できる制度を検討する。

# 基本情報

学校名	岩田中学校・高等学校		
学校法人	岩田学園		
設立年月日	明治33年7月 大分裁縫伝習所設立 昭和26年3月12日 高等学校設置認可		
理事長	成瀬 輝一		
校長	柳井 修		
施設	敷地面積	31,922㎡	設備 1号館・2号館・3号館(建設中) 4号館・5号館・6号館 7号館・体育館・生徒寮・トイレ棟
	建築面積	11,002㎡	
生徒数 (平27.5.1現在)	中学294名 高校282名 計576名		
学科・コース	全日制普通科 IWATAコース・APU立命館コース		
建学の精神等 (校訓)	Festina Lente ～ゆっくり急げ～		
特色	難関大学・学部への進学を目標とした6年間の中高一貫教育(IWATAコース) 高大連携の教育プログラムによるグローバルな人材の育成(APUコース)		
教育活動	【教育方針】 1 社会に有為な人材の育成 2 きめ細かく、一人ひとりを大切にする教育 3 自ら学ぶ姿勢を示す意欲的な人材の育成 4 公平と正義を重んじ、礼儀やマナーなどの躰を保護者とともに考える教育		
クラブ活動	【体育系】 バスケットボール(男・女)／サッカー(男・女)／テニス(男・女)／陸上(男・女)／卓球(男・女) 剣道(男・女)／軟式野球 【文化系】 科学／歴史研究／ESS(英会話)／ギター／囲碁将棋／書道／報道／家庭		
制服	男子…(冬)学校指定学生服／(夏)白カッターシャツ・黒スラックス 女子…ブレザー・ブラウス・ベスト・スカート・スラックス		



## 福德学院高等学校

### 【建学の精神】

実学を重んじ、自立できる人間の育成

### 【ビジョン】

自立できる生徒の育成      信頼され、選ばれる学校づくり

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

#### 1 個性を育て、社会性を身に付けるキャリア教育

- ①普通科（スポーツ強化コース）～リーダー育成を目指した人間教育  
競技力向上に向けた徹底的な技術指導
- ②普通科（ITライセンスコース）～ITパスポート合格に向け指導強化
- ③健康調理科～食のイベント・コンクールに参加・  
商品開発・専門講師の招聘
- ④こども教育科～こどもフェスティバルなどの外部からの参加拡大  
保育技術検定などの保育に関する色々な資格の取得
- ⑤トータルビューティ科～即戦力となる人材育成のため、  
時代のニーズに沿った授業内容の充実

#### 2 生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる学校づくり

- ① 地域との連携…地域の施設に出向いての交流会実施（幼稚園、老人福祉施設など）
- ② 大学・専門学校との連携…高大・高専連携を通じた、強いパイプづくり
- ③ 中学校との連携…情報交換・中学2年生対象見学会の実施
- ④ 企業・就職先との連携…商品開発・卒業生の情報交換・進路開拓  
インターンシップや企業見学

#### 3 各種メディアを活用した学校情報の発信

- ① 学校案内パンフレットの活用～教育活動の明確化  
PR紙作成（年2回：各科・コースごとに作成し、中学校や保護者に配布）
- ② メディアへの露出～行事の取材依頼・地元新聞に記事掲載依頼
- ③ 検定や資格、スポーツ実績の明示～校門付近に掲示

# 基本情報

学校名	福德学院高等学校		
学校法人	城南学園		
設立年月日	昭和2年9月8日 城南女学校設立 昭和23年5月26日 高等学校設置認可		
理事長	幸 和枝		
校 長	坂田 一郎		
施 設	敷地面積	20,335㎡	設備
	建築面積	5,605㎡	
			体育館・テニスコート
			礼法室
生徒数 (平27.5.1現在)	426人		
学科・コース	普通科(スポーツ強化コース・ITライセンスコース) 健康調理科・こども教育科・トータルビューティ科		

建学の精神等 (校 訓)	実学を重んじ、自立できる人間の育成 校 訓 < 自主・礼節・友愛 >
特 色	普通科(スポーツ強化コース)…スポーツを通して徹底した技術指導とリーダーの育成を行う。 普通科(ITライセンスコース)…目指すはITパスポート。情報社会に役立つ検定試験にも挑戦。 健康調理科…国家試験免除で調理師免許取得。和・洋・中の約400種類もの料理技術を習得。 こども教育科…こどもたちの信頼にこたえる保育士・幼稚園教諭を育成。指定校推薦等で進学。 トータルビューティ科…卒業時には美容師免許が取得可能。美容師への最短距離を目指す。
教育活動	一人ひとりが伸びる教育 一人ひとりを伸ばせる学校 ① 感謝 不平不満を言う前にまず感謝の気持ちを持つ。 ② 謙虚 他人のせいにする前に、まず謙虚な気持ちで自分の責任を考えてみる。 ③ 行動 面倒くさがる前にまず何事もやってみる。 以上を学びの基本姿勢3か条とし、毎朝唱和しています。
クラブ活動	運動部…なぎなた部/テニス部(男子・女子)/剣道部(男子・女子)/バスケットボール部(女子)/バレーボール部(女子)/サッカー部(男子・女子) 文化部…放送部/美術部/書道部/茶道部/華道部/JRC部/インターアクトクラブ/演劇部/囲碁部/手話部/料理同好会/音楽部
制 服	冬:紺のブレザースタイル(上下)・水色のシャツ(男女とも)・女子は紺を基調としたチェックのプリーツスカート・男子はグレーのズボン 夏:水色の半袖シャツ・ズボン、スカートは夏仕様



## 大分中学校・高等学校

### 【建学の精神】

創造・敬愛・気力  
文武両道

### 【ビジョン】

在校生が充実した学校生活を体感でき、  
小・中学生が進学したくなるような学校になる。

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

- 1 生徒が躍動する日常の創造
  - ① 学力の向上：到達度テストの導入
  - ② 授業の活性化：研究授業の増加
  - ③ 学校行事の創造：生徒の生徒による生徒のための学校行事
  - ④ 生徒と教師の交流の場の創造：全校集会の増加・課題研究発表
  - ⑤ 部活動の活性化：リーダーシップの育成・人間形成・顧問の連携強化
  
- 2 生徒の人間性の向上  
⇒生徒の個性を光らせ長く見守るキャリア教育の推進
  - ① 3年間通したキャリア教育の構築：外部講師による定期的な講演・卒業生の講話
  - ② 元気で礼儀正しい人間教育：厳しい企業の研修に派遣・生徒指導の徹底
  
- 3 10年後の学校像を見据えた行動指針
  - ① 生徒募集の強化：営業強化・HP，SNSの有効活用・中高一貫を最大限活かす
  - ② 内情把握：各部署の報告と認めあう場の設定
  - ③ 各教員の魅力の把握：褒めあう場の設定
  - ④ スキルアップの奨励：出張奨励
  - ⑤ 教員間の交流の場の創造：ワークショップの定期的開催・交流会開催
  - ⑥ 時代に適応：生徒一人に一台のタブレット・全教室に電子黒板導入

# 基本情報

学校名	大分中学校・高等学校		
学校法人	大分高等学校		
設立年月日	昭和23年4月 大分外国語専門学校設立 昭和27年5月31日 高等学校設置認可		
理事長	小山 康直		
校長	小山 康直		
施設	敷地面積	33,049㎡	設備 購買部、柔剣道場
	建築面積	14,921.978㎡	
生徒数 (平27.5.1現在)	中学219名 高等学校943名 専攻科25名		
学科・コース	普通科(特進・アスリート・美術・書道・音楽・アニメ)商業科・自動車工業科		

建学の精神等 (校訓)	創造・敬愛・気力 教育基本法に定める目的および方針に基づき、各科において必要な基礎学力を徹底させるとともに、生徒各人の長所を生かし、誠実・自立の精神を養うことにより、平和社会の建設と前進に役立つ人物の育成をはかる。
特色	本校には中学校2コース、高等学校3科11コースが存在する。中学校には特進クラスとスポーツクラス。高等学校においては、普通科の中に、特別進学コース(選抜・特進)・特別進学個性コース(進学・音楽・美術・書道・アスリート)・普通コース・アニメコース、商業科、自動車工業科を持っている。そのため特色ある教育活動を行っている。修学旅行においては、基本的に海外を予定しており国際交流にも力を入れている。それぞれの部署で、本校の歴史の中でも最高に近い成果が現われている。
教育活動	生徒それぞれが夢を実現するため、基礎基本を徹底的に学び身につける教育を実践している。また、価値観が多様化している現代社会において、他の人たちの価値観をも認められる幅広い人間性を育てるため、生徒たちが様々な経験を得ることができるカリキュラムを組んでいる。大学進学、キャリア教育を推し進めるとともに、芸術、スポーツ、国際交流において大分県の私学の雄としてあり続ける努力を行っている。
クラブ活動	野球・サッカー・剣道・ハンドボール・陸上・ゴルフ・バスケットボール・ソフトテニス・ボウリング・アーチェリー・テニス・吹奏楽・美術・書道・放送・弁論・囲碁・華道・茶道 特進新聞・図書・購買・情報処理・ダンス同好会・自動車同好会・水泳同好会・卓球 インターアクト・将棋同好会・空手同好会・弦楽合奏同好会・お菓子同好会・生徒会
制服	大分中学校・高等学校の制服は、ハナエモリデザインの制服で、濃紺ベースのスタイル。着る楽しみが、永く着用しても飽きのこない、着る生徒たちが自分の感性を生かしアレンジできる。そんなことを考えてデザインされたプレタ感覚の香る学生らしいきちんとしたデザインと清潔感のあるしなやかな機能性の制服です。



## 楊志館高等学校

### 【建学の精神】

広く産業経済界に有為な人材を育成し個性豊かな子弟を送り出す

### 【ビジョン】

- 1 実学教育
- 2 行きたい学校づくり
- 3 徳育と教務・進路・指導の連携

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

- 1 実学教育の推進
  - ・ 学園設置の専門学校との連携（体験授業及び、学生と生徒の交流）
  - ・ 学科・学年を越えてチャレンジできる「土曜講座」の充実
  - ・ 各種資格取得にチャレンジ（生徒）
  - ・ 新たな資格研究（教員）
- 2 中学生にとって行きたい学校、地域に開かれた学校づくり
  - ・ 本校教員による中学校での出前授業
  - ・ 大分県在住の外国人による「海外郷土料理チャレンジ大会」実施
  - ・ 外国人留学生による「日本語スピーチコンテスト」開催、交流
  - ・ 「大分県文化遺産復刻祭」への参加・・・大友宗麟の食材再現
  - ・ 大分市とコラボして生産者団体と連携した、調理科の地産地消授業
  - ・ 福祉施設などでの活動（福祉科、ボランティア部、邦楽部など）
  - ・ 情報の迅速な随時発信（ホームページ、楊志館T i m e sなどの充実）
- 3 継続した徳育教育の推進・強化
  - ・ 「瞑想の時間」を、各授業のはじめ等に実施
  - ・ 本校独自の多彩な行事の充実
    - 「学園遺徳の日」「命の大切さを学ぶ忌日祭」「徳育の日（毎月1日）」の充実など
  - ・ 校是「礼儀・感謝・奉仕」の具現化の推進
  - ・ 徳育と教務・進路・指導が緊密に連携し、豊かな心を持った生徒の育成
  - ・ 日本の伝統的な精神文化の理解を深める職員研修の充実

# 基本情報

学校名	楊志館高等学校		
学校法人	後藤学園		
設立年月日	昭和22年4月1日 後藤簿記・珠算塾設立 昭和28年3月5日 高等学校設置認可		
理事長	濱小路 悦生		
校長	中村 章徳		
施設	敷地面積	25,512.0㎡	設備
	建築面積	19,365.0㎡	
	本館、2号館、3号館、国際交流記念館 体育館、各武道場、各コース実習施設		
生徒数 (平27.5.1現在)	979名		
学科・コース	普通科・進学コース 医療事務コース エステティックコース キャリアライセンスコース 福祉科・福祉ワーカーコース 商業科・デジタルデザインコース 調理科・調理師コース 工業科・マルチエンジニアコース		

建学の精神等 (校訓)	<建学の精神> 広く産業経済界に有為な人材を育成し個性豊かな子弟を送り出す <教育方針> 形から心を養う実学教育 <校 是 > 礼儀 感謝 奉仕
特色	創立以来、「有徳の学園」づくりに取り組んでいます。時代が変わろうとも「徳育の尊さ」を追求し続け、斬新な教育課程のもと、一人ひとりの個性を大切に、思いやりを持った優しく心豊かな生徒を育成する為、様々な教育活動の中で情操教育の機会を作っています。
教育活動	社会のニーズにこたえる5学科8コースで編成され、学年制のまとまりとコース制の特色を生かし日々の教育活動に取り組んでいます。本校独自の教育課程により生徒個々の能力に応じた学習指導のもと、卒業後の進路を見据えて学力と技術力を身につけます。
クラブ活動	17の体育系クラブと12の文化系クラブがあり、平成27年県総体および北九州大会では男子陸上部が総合優勝しています。また、陸上、相撲、カヌーがインターハイや国体に出場し上位入賞の好成績をおさめました。邦楽(太鼓)やボランティアも積極的に活動をしています。
制服	男女ともに冬服は黒を基調に、シンプルで落ち着きがあり上品に着こなすことができます。グリーンのネクタイがポイントです。 夏服は、男女ともに上が白、男子のズボンと女子のスカートが紺色で爽やかな印象です。





## 向陽中学校・大分東明高等学校

### 【建学の精神】

Where there is a will, there is a way.

—意志あるところに道あり—

### 【ビジョン】

スクールカルチャー

東明・向陽文化の確立

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

#### 1 コース制の強化

- ① コース別年次目標設定 : 進学・就職・資格・検定
- ② コース独自カリキュラム : 習熟度・進路別
- ③ コース単位の行事による帰属意識の醸成とキャリア教育  
: コース集会・進路講演会・施設実習

#### 2 進路実績の向上

- ① 面接やガイダンスの活用 : 面談週間・教育合宿
- ② 各教科「基礎力テスト」の充実 : 事前・事後指導
- ③ 授業評価 : 生徒・保護者アンケート、授業計画・進度表
- ④ 教員研修の実施 : 公開授業週間・教育セミナー
- ⑤ 家庭学習習慣の促進 : 生活・学習調査、課題出題状況調査

#### 3 知・徳・体の育成

- ① 多彩な学校行事 : 生徒による自主運営
- ② 盛んな部活動 : スクールリーダーの育成
- ③ 生徒会活動の活性 : 校外清掃活動・交通マナーアップ啓発
- ④ 国際的視野を持った生徒の育成 : 海外語学研修・交換留学
- ⑤ 基本的生活習慣の確立 : 「東明5つの約束」

# 基本情報

学校名	向陽中学校・大分東明高等学校		
学校法人	平松学園		
設立年月日	昭和29年3月16日 平松商業高等学校設立 昭和29年2月25日 高等学校設置認可		
理事長	平松恵美子		
校長	平塚正明		
施設	敷地面積	82,155.76㎡	設備 本館・新館・南館・北館・東館 新体育館・第二体育館・看護専攻科 向陽中学校 第一グラウンド・第二グラウンド 男子寮・女子寮
	建築面積	25,308.41㎡	
生徒数 (平27.5.1現在)	向陽中学校 117名 高等学校 1855名 専攻科 93名		
学科・コース	普通科(普通コース、歯科衛生コース、国際コース、準特コース、特別進学コース) 商業科(商業・介護福祉コース、情報処理コース) 看護教養科(医療系進学コース) 看護科(5年一貫コース)		
建学の精神等 (校訓)	Where there is a will, there is a way. —意志あるところに道あり—		
特色	「人間力の涵養と学習力の育成」の目標の下、独自のカリキュラムと特色を持つ4科9コースを設置し、多様な生徒の個々の目標や習熟度に応じた、きめ細かな指導を行っています。県内有数の進学実績を誇ると同時に、部活動など全国レベルの実力を持つ者も多く、文武両道の夢を持った生徒たちが多数集う学校です。		
教育活動	「生徒を真ん中に据えた教育の推進」の目標の下、生徒の能力・個性を伸ばし、やる気・意欲を喚起し、すべての生徒が授業・行事等で輝く充実した学習環境を保証しています。具体的には、一人ひとりの夢と志の実現に向けた進路指導・個性や可能性を大きく伸ばすための様々な学校行事が充実しています。		
クラブ活動	運動部、文化部合わせて40を超えるクラブがあります。運動部ではインターハイで4度の優勝経験のあるアーチェリー部、全国高校駅伝大会の常連となった駅伝部、また文化部では常に全国のトップレベルに立ち続けるバトン部、県内トップクラスの吹奏楽部などをはじめ、多くのクラブが活躍しています。		
制服	男子はブレザースタイル、女子はコシノヒロコデザインの白いラウンドネックのブラウスに、紺のボレロ、プリーツスカートが冬服の基本です。(夏服は男女とも白いシャツ、ブラウスにスラックスとスカート)端正で清潔感のある着こなしを校則で定めています。		



## 大分国際情報高等学校

### 【建学の精神】

社会に貢献できる情報産業技術者ならびに無線従事者の育成

### 【ビジョン】

夢の実現力と豊かな人間性をもった、社会が求める情報産業技術者として、自己が目指す進路を切り拓く

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

#### 1 情報系専門高校としての教育の充実

- ① 資格取得の奨励
- ② プログラミング技術の習得および情報系難関国家資格（基本情報技術者、ITパスポート）の取得
- ③ 北海道情報大学と連携したeラーニング
- ④ 学習環境の整備（最新コンピュータ、タブレット、他）

#### 2 生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる学校づくり

- ① あいさつ運動の実施（朝の登校時、生徒、教職員による）
- ② ボランティア活動への参加  
「地域清掃奉仕活動」、「地域IT講習会」、「夏休みものづくり講座」、  
「クリスマスプレゼント配布」、「ごみゼロおおいた推進隊」、ほか

#### 3 キャリア教育の充実

- ① 3年間を通したキャリア教育プランの導入
- ② 企業・学校の見学会や卒業生による講演会等を開催

#### 4 グローバル・ICT化に対応した教育の推進

- ① タブレットおよび電子黒板を活用した授業展開
- ② 全生徒を対象とした「情報技術検定」およびコンピュータ実習の実施
- ③ 学校設定科目として「国際理解」の設定および専門家によるネットモラル教室の実施

# 基本情報

学校名	大分国際情報高等学校		
学校法人	渡邊学園		
設立年月日	昭和31年 九州電波専門学校設立 昭和41年3月31日 高等学校設置認可		
理事長	渡邊 幸子		
校長	安部 典男		
施設	敷地面積	13,926㎡	設備 本館(教室棟)、実習棟(コンピュータ実習室、CG実習室、電子工作実習室、電子計測実習室、情報通信実習室、電子製図実習室) 体育館、調理実習棟、ほか
	建築面積	4,156.77㎡	
生徒数 (平27.5.1現在)	339名		
学科・コース	情報通信課(情報通信コース、国際情報コース、ITエンジニアコース) 情報電子科(情報電子コース、情報デザインコース)		

建学の精神等 (校訓)	建学の精神:社会に貢献できる情報産業技術者ならびに無線従事者の育成 校訓:愛と犠牲の精神 質実剛健 実践躬行
特色	建学の精神・教育目標を踏まえ、教師の創意工夫と生徒の学ぶ意欲に満ちた学校づくりに努めています。興味・関心にあわせた多様なコースを開設し、個性や創造性を伸ばし、知識・技術・資格を習得することにより、自己の資質・能力を最大限に発揮し、高度技術・情報化社会でグローバルかつ主体的に活躍し、21世紀を担う人材を育成しています。平成23年度4月に、最新の施設・設備を備えた新校舎が完成しました。平成27年度には、情報通信科にITエンジニアコースが新設され、難関国家資格を取得し、最短コースでIT社会のスペシャリストを養成します。マイクロソフト社認定Microsoft / IT Academy Program 認定校、CG-ARTS協会認定CG教育校等、数多くの団体から認定を受けています。経済産業省認定「基本情報技術者」においては、毎年高い合格率で実績を上げています。
教育活動	修学旅行(行き先は年度により異なります)があります。ほかに、電波の日、創立記念日、毎年ユニークな競技種目で盛り上がる体育大会、模擬店や生徒による発表が充実した学園祭、あしなが学生募金などのボランティア活動も積極的に実施しています。平成26年度には、長年にわたる地域清掃ボランティア活動が認められ、「がんばる道守in大分 銀賞」を受賞しました。校内外さまざまな場面で、生徒会を中心に、活発に活動しています。
クラブ活動	体育系は、過去2度の全国優勝経験を持つハンドボール部があり、全日本代表選手である宮崎大輔などのプロ選手を輩出するなど、毎年実力のある選手が育成されています。平成27年度には、硬式野球部、平成28年度には男子剣道部が創部され、更に充実した高校生活を送ることができます。ほかバドミントン同好会、サッカー同好会の活動もさかんです。文化系は情報技術部、放送技術部、フォトメディア部、文芸部、DTM(デスクトップミュージック)部、演劇同好会などが活躍しています。
制服	大分県で初めてイタリアベネトン社デザインの制服を導入しており、スタイリッシュで上品なデザインです。シャツ・ブラウスはホワイト、ラベンダー、ブルーの3色から選べます。家庭でも洗濯できていつも清潔なウオッシュャブル制服です。



## 明豊中学・高等学校

### 【建学の精神】

「真理はわれらを自由にする」

### 【ビジョン】

地域に愛され、信頼され、選ばれる学校づくり

国際社会に対応できる人間力、論理力、表現力を育むシステム構築と実践力のある学校

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

#### 1 英語の明豊（グローバル人材の育成）

- ① 「全員が話せる」インプット、アウトプット
- ② 思考力・表現力を鍛えるディベートの実践
- ③ 中学生・地域の方を招いたディベート、英語劇の発表
- ④ コミュニケーション能力向上

#### 2 学力向上、進路支援事業（キャリア教育の継続）

- ① 特進クラス学力向上対策（習熟度別指導、少人数指導）
- ② 2020年入試改革を見据えた中高一貫教育の充実
- ③ 職業観の育成にむけた進路ガイダンス・小論文講演の実施
- ④ 基礎学力向上対策用ドリルの導入
- ⑤ 進路支援員の配置

#### 3 不登校対策、学校への定着対策

- ① スクールカウンセラーの配置
- ② 心の問題を扱った講演の実施
- ③ 教育相談充実のための体制づくり

#### 4 教師力向上

- ① 教師間の授業観察・研究授業の実施
- ② 県内外の教科研修会への参加、還流報告の徹底

# 基本情報

学校名	明豊中学・高等学校		
学校法人	学校法人別府大学		
設立年月日	明治41年4月12日 豊州女学校設立 平成11年3月24日 高等学校設置認可		
理事長	二宮滋夫		
校長	小野二生		
施設	敷地面積	39,503 m <sup>2</sup>	設備 体育館 看護棟 情報処理室 特別棟 冷暖房完備 野球部寮 野球専用グラウンド 室内練習場
	建築面積	13,081 m <sup>2</sup>	
生徒数 (平27.5.1現在)	中学:130名	高校:全日制課程 477名 :通信制課程 121名	専攻科59名
学科・コース	[全日制課程] 普通科 特別進学クラス 総合進学クラス(体育コース、文理コース、情報・経営コース) 看護科 (5年一貫) [通信制課程] 普通科		
建学の精神等 (校訓)	建学の精神「真理はわれらを自由にする」 (校訓) 夢 : 志を高く、将来の目標を見つける 勇気 : 何事も一歩前に進む勇気を持つ 愛 : 自分を信じ、人を愛する心を養う		
特色	中高一貫を特色とし、学校行事、学習活動、部活動を通して、時代の変化に対応できる「人間力」を身につけると同時に人への思いやりを持った心豊かな人間を育成する。 また、一人一人が持つ無限の可能性を見極め、最大限に能力を引き出し「夢の実現」に向け、明るく豊かな心と知性を養い、責任感、行動力のある健全な人間の育成に努めている。		
教育活動	[特別進学クラス]: 少人数による習熟度別授業や個人指導・朝テスト・補習・勉強合宿などを通して目標を達成するための学力をつける。 [総合進学クラス]: 体育、文理、情報・経営といった生徒の個性に応じたコース編成で、進路希望の実現を図る。各種検定の受験を奨励し、合格にむけた補習を行う。 [看護科]: 5年一貫の最短コースで、看護師国家試験受験資格が得られ、看護の心を育てると同時に感性を磨き専門性を高め、自主性を育てる教育を行う。 (昨年の看護師国家試験合格率100%)		
クラブ活動	[体育系]: 卓球部 硬式野球部 ソフトテニス部 テニス部 バスケットボール部 サッカー部 水泳部 陸上部 弓道部 ラグビー部 [文科系]: インターアクト・クラブ部 書道部 吹奏楽部 茶道部 硬筆部 放送部 写真部 華道部 コーラス部 E.S.S部 文芸部 軽音楽部 明豊ソラン部 チア部 ダンス部		
制服	男女ともに「グレー」を基調としたモノトーン調の知的で洗練された印象の制服。男子は3ピースのスーツスタイルにネクタイ、女子はリボンがアクセントになっている。共に上衣の胸元には学校名のMの刺繍が施され、明豊生としての誇りが刻まれている。		



## 別府溝部学園高等学校

### 【建学の精神】

恭敬・親和・自立

### 【ビジョン】

溝部ブランドを確立し、県下及び生徒・保護者から必要とされ、“選ばれる”学校

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

- 1 ランクアップを目指した進路指導
  - ① 第一志望合格者 80%を目指し進路目標別の校内予備校を開設
  - ② 外部講師による科・コース別職業意識啓発合宿の実施
  - ③ 企業研修を含む教職員のスキルアップ研修会の実施
  - ④ 教材選択及び教育課程の見直し 等
  
- 2 部活動の更なる活性化
  - ① 指導者・保護者に対しスポーツ歯学・栄養学講習会を実施 [学内連携]
  - ② 外部施設の積極的活用とニーズに応じた部活動の新設
  - ③ 高度な指導スキルをもつ外部指導者等の効果的な活用 等
  
- 3 自主自立できる生徒の育成
  - ① “Mプロジェクト”達成に向けたMリーダー育成プログラムの実践
  - ② 教育相談的手法のスキルアップに向けた継続的な研修会の実施
  - ③ HR活動の充実と指導体制の強化 等



# 基本情報

学校名	別府溝部学園高等学校		
学校法人	溝部学園		
設立年月日	昭和21年4月8日 別府高等技芸学校設立 昭和31年4月2日 高等学校設置認可		
理事長	溝部 仁		
校長	佐藤 清信		
施設	敷地面積	25,086.45㎡	設備 ・屋内体育施設 [ 2F(弓道場)・3F(温泉プール) ] ・足湯(源泉かけ流し)
	建築面積	6,566㎡	
生徒数 (平27.5.1現在)	高等学校: 495名 専攻科: 69名		
学科・コース	普通科[進学コース・福祉コース・情報ビジネスコース・ライフデザインコース] 食物科 看護科[5年一貫]		
建学の精神等 (校訓)	【建学の精神】『技術と資格を身につけ、自主自活できる人材の育成』 【校訓】 『恭敬・親和・自立』		
特色	新しい世界に即応する人間性の確立を目指し、各科・コースに於いてきめの細かい教育を実践し、多くの資格と確かな技術を身につけ即戦力として信頼される人材を育成。普通科では2年次より希望・適性に応じた4つのコースを展開し、食物科は卒業時に調理師免許を取得、5年一貫教育の看護科では高い国家試験合格率を実現。生徒は自然に恵まれた学習環境において明るく活気のあるスクールライフを送っている。		
教育活動	30年後に大木となる人材の育成を目指し、卒業証書プラスワンを合言葉に一人ひとりを大切に、生徒個々の状況に対応したきめの細かい教育を実践し、昨年度まで3年連続で進路達成率100%を実現。地域に開かれ信頼される学校づくりに向けて、食物科・看護科や音楽部による積極的な地域活動への参加や、地域の方々を対象とした公開講座の実施、東部振興局と連携してジビエ料理の普及活動にも貢献。また、学園敷地内に11箇所ある泉源の1つを活用し足湯を開設し、交流の場として生徒・地域に開放。『オール溝部』を合言葉に、学園全体として同学園短大・専門学校へと連結した5年間もしくは6年間継続した教育を推進し、より希望に即した就職を実現している。		
クラブ活動	【運動部】 卓球部・アーチェリー部・陸上競技部・水泳部・バレーボール部 バスケットボール部・テニス部・サッカー部・少林寺拳法部 【文化部】 調理部・ボランティア部・音楽部・手芸部・コンピューター部 書道部		
制服	男女とも紺のブレザータイプの制服で、チェックのスカートと上着の白いパイピングはシンプルながらお洒落だと評判。 女子の夏服は4パターンの着こなしから自由に選択が可能。		





## 東九州龍谷高等学校

### 【建学の精神】

「真実を求め、真実に生きん」

### 【ビジョン】

ONLY ONE de No.1

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

#### 1 生徒満足

- ① 目標を持たせ、常に意識させ、目標達成への介助
- ② 質の高い教育を提供  
→教科指導、宗教教育、部活動、食物科の食育など

#### 2 教員パワーアップ

- ① 教員の研修を定期的に行う（企業研修など）  
→龍谷総合学園内の研修、その他の研修に参加  
→各自メールアドレスを学校より提供し、報連相を実施

#### 3 保護者・地域満足

- ① 宗教教育による「心の教育」を行う
- ② 地域社会に貢献し、開放的な学校にする  
→部活動教室や食育教室などを実施中  
・魚ちびっこ料理教室、近隣中学校への魚料理教室など  
→部活動としてインターアクトクラブを創設、活動中  
・募金活動（24時間テレビなど）  
・麻薬撲滅・世界エイズキャンペーン（呼びかけ運動）  
・福祉ボランティア（支援学校や聴覚障害者の運動会の手伝い）  
など
- ③ 完全教育を実践 ※完全教育…生徒が卒業した後も関わり続ける  
→卒業生が毎年多数来校し、本校教師が対応

# 基本情報

学校名	東九州龍谷高等学校		
学校法人	扇城学園		
設立年月日	明治32年2月6日 扇城女学校設立 昭和23年5月26日 高等学校設置認可		
理事長	梅高賢正		
校長	安部恭一		
施設	敷地面積	18816.41㎡	設備 全教室冷暖房完備(体育館含む)
	建築面積	10273.98㎡	
生徒数 (平27.5.1現在)	676名		
学科・コース	普通科(特別進学コース、普通コース)/食物科/衛生看護科		

建学の精神等 (校訓)	「真実を求め、真実に生きん」 報恩感謝の温和で知性と教養ある情操豊かな人格の育成に努める
特色	(1)設置科……普通科(特別進学コース、普通コース)/食物科/衛生看護科 (2)宗教教育…建学の精神を、学問研究や人間が真に人間として生きるための 根本精神として宗教教育を実施 (3)人権教育…一人ひとりの生徒を大切にす教育、一人ひとりを見落とさ ない教育
教育活動	(1)すべてのいのちを大切にする「平等」の精神、真実を求め真実に生きる「自立」の精神、常にわ が身をかえりみる「内省」の精神、生かされていることへの「感謝」の精神、人類の対話と共存を 願う「平和」の精神に基き、生命を大切にする受容、共生、個を尊重する教育活動 (2)国際化、情報化、少子高齢化、科学技術の発展や環境問題などの社会状況の変化に柔軟に 対応できる個性的・創造的な人材の育成を図るとともに、思いやりや社会性、倫理観、正義感等 の豊かな人間性の育成を重視した教育活動
クラブ活動	■運動部 バレーボール/ソフトテニス/卓球/柔道/空手道/剣道/相撲/軟式野球/ライフル射撃/陸上  ■文化部 吹奏楽/手話/弁論/書道/ワープロ/家庭クラブ/インターアクト/JRC/将棋/茶道華道
制服	夏服、合服、冬服ともにフォーマルウェアー 制服には、学年章(左胸)や念珠(左手)を着用



## 昭和学園高等学校

### 【建学の精神】

努力精進・明朗融和・感謝奉仕

### 【ビジョン】

地域・生徒・教員それぞれに開かれた学校、地域の人材要請に応える体制・力を活かし、地域に必要な存在であり続ける。

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

- 1 地域と学校間の緊密な連携の構築と開かれた学校づくり
  - ①保護者や地域の方々に向けた「オープンスクール」を毎年実施し、それに対応できる教職員の資質向上をはかる。
  - ②地域の企業や団体における就業体験等による職業観・就労観の育成および積極的な外部講師の活用を実施する。
  - ③地域の組織・団体と昭和とのコラボレーションの推進及び、「昭和ブランド」の開発に向けた連絡会議等を設置する。
  
- 2 社会人基礎力を備え、地域社会に貢献できる人材の育成  
～SPH 指定校としての看護人材育成を学校全体の取組にも応用～
  - ①豊かな人間性の育成

APU や地域・異学年との交流を通じて、多様な文化や価値観等とふれあうことや、宗教的行事を通して「心」の涵養をはかり、豊かな人間性を育成する。
  - ②課題解決能力の育成

ICT 教材の活用、反転授業、シミュレーション教育等の主体的な学習を通じ、自ら考え、課題を探求し、解決能力を身に付ける。
  - ③社会人基礎力の育成

「健康寿命日本一の実現」に向けて、地域行事・ボランティア活動・募金等の社会貢献事業に生徒が主体的に関わり、キャリアデザイン能力を磨き、社会人基礎力を身に付ける。

## 基本情報

学校名	昭和学園高等学校			
学校法人	岩尾昭和学園			
設立年月日	昭和14年4月1日 日田家政女学校設立 昭和23年5月26日 高等学校設置認可			
理事長	草野 義輔			
校長	山本 省悟			
施設	敷地面積	校地 13281㎡ 運動場 4970㎡	設備	・SGホール(三階吹き抜け、図書館兼ねる) ・情報処理室 ・調理実習室 ・理科実験室 ・看護福祉実習室 ・製菓実習室 ・総合調理実習室 ・家庭科室 ・放送ブース
	建築面積	校舎 8272㎡ 体育館2074㎡ 寮 1572㎡ その他 403㎡		
生徒数 (平27.5.1現在)	高校520名、専攻科115名			
学科・コース	普通科(特別進学コース、キャリアデザインコース(情報コース、総合コースは3年のみ)、製菓衛生師コース)、調理科、福祉科、看護学科			

建学の精神等 (校訓)	綱領<努力精進 明朗融和 感謝奉仕>
特色	仏教の教えに基づいた報恩感謝の心の教育を基本として、「努力精進」「明朗融和」「感謝奉仕」を三綱領(校訓)として掲げ、自ら学び自ら考え、生きる力を身に付けた、時代にふさわしい人材の育成を目指している。
教育活動	1. 宗教的情操教育を徹底し、三綱領の浸透を図る。 2. 専門的技術技能教育を徹底し、全員の資格取得、検定の合格を目指す。 3. 個人を生かす進路指導の徹底を図り、進路目標を達成させる。 以上3点を、本校の創立精神に立脚して、その徹底を図っている。
クラブ活動	インターハイ40回以上、全国大会100回以上出場のバドミントン部、平成27年度インターハイ出場(4年ぶり5回目)のソフトボール部、全国大会3年連続金賞のバトン部、17年連続全総文出場の詩吟部など、運動部10、文化部15の部活が日々活動している。
制服	『「凛として美しい」をモットーとし、スクールカラーの群青を基調とした濃紺の制服である。』



## 藤蔭高等学校

### 【建学の精神】

『～鋭きも鈍きも共に捨て難し 錐と槌とに使い分けなば～』  
(咸宜園の精神を継承)

### 【ビジョン】

安心安全でアットホームな環境の中、生徒の未来に希望が持てる  
進路保障の確立、学業だけでなくスポーツやボランティアを通して  
地域社会に貢献できる開かれた学校づくり

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

- 1 生徒の行く末を見守るキャリア教育の推進
  - ① 大学、短大、企業などとの強いパイプづくりを行う
  - ② 商業系の生徒による日田スギを利用した商品開発を実施する
  
- 2 生徒・保護者・地域から信頼され選ばれる学校づくり
  - ① 国際貢献活動を中心とした社会奉仕体験活動を実施する
    - ・ 20年以上継続している東南アジア支援物資輸送活動の実施
  - ② 地域の歴史文化遺産への理解を推進する
    - ・ ユネスコ活動(世界遺産等)についての学びから郷土愛、学校愛の醸成
    - ・ 地域の伝統行事（無形民俗文化財）などへの積極的参加
  
- 3 各種メディアを活用した学校情報の発信
  - ① 学校ホームページに主な学校行事の写真、学校案内パンフ、動画等を掲載する（情報デザインコースの活用も含めて学校行事の動画等）
  - ② Facebook やツイッターなど SNS も活用する

## 基本情報

学校名	藤蔭高等学校		
学校法人	日田佐藤学園		
設立年月日	昭和25年5月6日 日田高等経理学校設立 昭和29年8月11日 高等学校設置認可		
理事長	佐藤 武朗		
校長	石井 潔		
施設	敷地面積	21,454㎡	設備
	建築面積	9,103㎡	
			平成24年8月に校舎耐震化工事完了(施工・鹿島建設九州支店)
			男子寮、女子寮、スクールバス
生徒数 (平27.5.1現在)	全日制:266名 通信制:38名		
学科・コース	普通科(特別進学コース、進学コース、保育コース) 通信制課程 普通科 情報経済科(会計コース、情報・デザインコース)		

建学の精神等 (校訓)	戦後の混乱期、税制改革などの経済復興の時期に”商業教育を通じ、国家社会に有為な青少年の育成”が急務である、との精神に基づき、佐藤藤義(初代理事長)により創立された。初代校長は広瀬正雄先生で、本校は広瀬淡窓先生が開いた私塾『咸宜園』の精神である『～鋭きも鈍きも共に捨て難し 錐と槌とに使い分けなば～』を教育方針としている。校訓は「規律」・「礼儀」・「品性」で校訓三紀と呼ばれている。因みに咸宜の語源は”みなよろし”
特色	日本文化遺産となった日田の誇る『咸宜園』の精神を教育方針としている創立65年の私立高校。創立時から青少年の商業教育に尽力してきた。当初は珠算が盛んでとりわけ金融界に多くの優秀な人材を輩出。さらに簿記教育は高校生では難しいとされた日商簿記検定1級取得などに成果を上げた。昭和60年に普通科特進コースを設置し大学進学に力を入れ、大阪大学、九州大学などの難関大学に合格している。平成19年に、通信制課程普通科を設置し、「学びたい時に、学ぶ意欲のある人に、学習に機会を与える、開かれた学校」として、大学合格などに実績を上げている。
教育活動	『鋭きも鈍きも共に捨て難し』の教育方針で個別指導を徹底している。教職員が常に生徒の可能性を最大限伸ばし、一人ひとりの個性を尊重しながら進路保障の実現に努めている。大学進学を目指す普通科と商業系の情報経済科の2つの科がある。普通科は国立大学を目指す特別進学コースと、得意教科を活かし部活動との両立ができる進学コース、さらに中学生に人気のある保育士を養成する保育コースがある。情報経済科は会計コース・情報デザインコースに分かれ、大学や専門学校への進学と簿記・計算事務を主に事務職など社会で即戦力となる人材の育成をしている。
クラブ活動	文武両道の精神。体育部では、野球部(昭和30年創部)は昭和41年の大分国体において軟式野球部が準優勝(天覧試合)。その後硬式に変わり平成2年夏、平成7年春にそれぞれ甲子園出場を果たす。バスケット部も県高校女子バスケットボール界を常にリードし、昭和60年の鳥取国体で第3位となった。本年インターハイ出場。OGにアトランタ五輪で女子主将を務めた原田裕花がいる。その他、女子走幅跳びで昭和63年の京都国体優勝、平成23年には山口国体でフェンシング少年男子が優勝、平成25年の東京国体では準優勝している。文化部は、吹奏楽部(昭和34年創部)は本年県吹奏楽コンクール金賞、マーチングでも九州代表になり全国大会に出場した。
制服	男子生徒の冬服は黒色の詰襟の学生服、夏服は白色シャツ。女子生徒は森英恵デザインで冬服はキャメル色、夏服は白色を基調としたセーラータイプ。シンプルだが気品があり、AKB所属の渡辺麻友さんが可愛い制服の一つに選び「渡辺麻友制服図鑑」にも掲載された。本校制服は、中学生にも高い人気がある。



## 日本文理大学附属高等学校

### 【建学の精神】

産学一致

### 【ビジョン】

前向きで自立した生徒の育成

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

#### 1 高大連携

- ① 高大の人材派遣(講師等)や、施設を活用した連携教育活動の緊密化。
- ② 大学生との交流による連携活動の充実。
- ③ 部活動の連携(大学施設の利用や選手交流)と強化部の7年一貫指導の確立。
- ④ 産学官金等の地元パートナーの確立と高大プロジェクトチームによる新教育改革に対応できる教育システムの開発。

#### 2 キャリア教育推進

- ① 生徒の主体的な活動(見学先や実習先の選択、実習後のまとめや発表)を中心としたアクティブラーニングによる、社会人として必要な能力の育成。
- ② 実習先や講師派遣に県南の企業・事業所を活用して地域連携。
- ③ 学校外での対話を促す課題の設定や実習を通じてのコミュニケーション能力向上。
- ④ 生涯を通じキャリアを積み重ねていくために必要な社会的・職業的自立を目指した取り組み。

#### 3 人間力の育成

- ① 基本的な生活態度の育成。
  - ・挨拶十か条の実践。
  - ・自主的清掃活動の奨励。
- ② 地域や人との関わりの中から生まれる社会的帰属意識と自律的学びへの探究心の醸成。
  - ・地域ボランティア活動の推進。
  - ・地域行事の企画や行事参画等。
- ③ 新しい可能性を創造し挑戦を続ける人材の育成。
  - ・生徒が主役の学校行事を創り出す生徒会等の文化的教育活動の展開。

# 基本情報

学校名	日本文理大学附属高等学校		
学校法人	文理学園		
設立年月日	昭和30年3月 佐伯産業高等学校設立 昭和30年3月16日 高等学校設置認可		
理事長	菅 貞淑		
校長	田中 英明		
施設	敷地面積	45,781.39㎡	設備
	建築面積	7,813.1㎡	
	本館、西館、菅記念体育館		
	四教館、学生寮		
生徒数 (平27.5.1現在)	436名		
学科・コース	普通科(特別進学コース、進学コース)、 商業科(マルチメディアコース、福祉コース)、情報技術科(情報コース)、 機械科(機械コース)		
建学の精神等 (校訓)	建学の精神:産学一致 校訓:自立・勤勉・敬愛		
特色	県南唯一の私立高校。文武両道の実践校。系列校との高大連携事業推進校。		
教育活動	普通科特別進学コース (35単位)少人数制による個々の習熟度に応じた指導。 普通科進学コース (34単位)生徒個々の能力に応じた学習指導。 商業科マルチメディアコース(30単位)商業の意義や役割理解の指導。 商業科福祉コース (30単位)高齢者福祉を中心に、流通や会計の基礎知識指導。 情報技術科情報コース (30単位)ITの知識と技術の指導。 機械科機械コース (30単位)ものづくりの基本的な専門知識・技術の指導。		
クラブ活動	体育部:野球、レスリング、サッカー、駅伝競走、ラグビー、バレー、卓球、 空手道、バスケットボール、硬式テニス、ゴルフ、ダンス 文化部:茶道、華道、コンピュータ、美術・イラスト、書道 同好会:吟詠、文芸、ライセンス、新聞クラブ、ハイスクール消防クラブ、放送、 簿記公務員クラブ、吹奏楽クラブ		
制服	スーツタイプ(シャツ、ネクタイ、リボンは生徒の選択で着用できる)		





## 柳ヶ浦高等学校

### 【建学の精神】

(1)人として豊かな心 (2)人生を生きぬく力 (3)社会に貢献する力

### 【ビジョン】

特色ある私学として、地域に愛され貢献する学校づくり

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

#### 1 地域・生徒・保護者から信頼され、選ばれる学校づくり

- ① 神輿発祥の地、宇佐神宮がある地域の高校としての地域活動やボランティア活動
  - ・地域行事（神輿を担ぐ、餅つきなど）の参加継続
  - ・看護学科による、地域住民に対しての健康促進活動の実施
  - ・生徒がつくる地域への情報発信（HP、ポスター制作など）
- ② 生徒一人ひとりを大切にした生活、生徒指導
  - ・あいさつ運動の継続と指導
  - ・生徒と共に行う清掃指導の徹底
  - ・寮内での生活指導
  - ・面談週間の継続

#### 2 教育環境の充実

- ① 吉用学園内（専門学校、幼稚園）との連携
  - ・異年齢交流（プランター作り、運動会）の継続（幼稚園）
  - ・専門性の高い技術講習会の実施（専門学校）
- ② 寮の充実
  - ・自習室設置
  - ・課外を利用した補習指導
  - ・栄養バランスを考えた毎日3食提供する食事の継続と向上

#### 3 教職員全体のスキル向上

- ① 校内研修の充実と校外研修の参加
  - ・月1回実施の継続
  - ・教科の垣根を越えた公開授業の実施
  - ・外部講師招聘（地域企業、医学界、大学など）
  - ・全職員年1回以上参加（他校公開授業、私学研修会、各主任研修など）
- ② 評価制度の導入
  - ・生徒、保護者による授業、学校満足度アンケートの実施
  - ・第三者による学校評価制度の確立

# 基本情報

学校名	柳ヶ浦高等学校		
学校法人	学校法人 吉用学園		
設立年月日	明治43年1月6日 柳ヶ浦裁縫女学校設立 昭和23年5月26日 高等学校設置認可		
理事長	今永 妙子		
校長	安松 良一		
施設	敷地面積	60,797 m <sup>2</sup>	設備 普通教室、パソコン室、調理室、講義室、看護実習室、音楽室、会議室、図書室 体育館、グラウンド、野球場、サッカー場、柔道場、剣道場、室内練習場、寮(野球、サッカー、一般、女子、カレッジ)
	建築面積	6,889.75 m <sup>2</sup>	
生徒数 (平27.5.1現在)	高等学校:492名 専攻科:101名		
学科・コース	普通科(体育進学コース、普通コース) 看護学科(5年一貫制)		
建学の精神等 (校訓)	(1)人として豊かな心 (2)人生を生きぬく力 (3)社会に貢献する力		
特色	本校は創立106年を有し、部活動では今年創部50年の長い歴史を誇る野球部を代表として、多くの卒業生が全国様々な場所で活躍している。現在設置している普通科では、文武両道を目指し、スポーツでも全国レベルの技量を身につけるため、日々切磋琢磨している。看護学科は、5年一貫の教育を行い、卒業と同時に看護師国家試験の受験資格が得られる。また、看護学科を卒業した生徒・学生300名以上が地元宇佐市をはじめ近隣の病院に勤務し、地域医療に貢献している。両科ともに、寮を完備し、食事は土日を含め毎日3食付いており、遠方からの受け入れも可能となっている。		
教育活動	教師と生徒との人間的なあたたかいふれあいを大切にし、豊かな人間性の伸長を図り、学業においても基礎基本を充実させ、知的探究心の喚起を図っている。 また、学校行事や部活動、体験実習などを通して生き生きとした集団を組織しながら、幅広い社会性と自立性を身につけさせ、豊かな心とたくましい体を育成している。そして、人権・同和教育も推進し、人間尊重の精神の育成に努めている。 更に本校には、親元を離れ寮生活をしながら学習する生徒も多く在籍しているため、その寮生活を通じて自立・共同・友愛の精神を育成している。		
クラブ活動	【運動部】硬式野球部、男子サッカー、女子サッカー、柔道、空手道、男子バスケットボール、剣道、(以上強化クラブ)、女子バレー、チアガール 【文化部】弁論、プラスバンド、JRC/インターアクト、華道、書道、イラスト同好会		
制服	平成21年に現在のデザインに変更。冬服・合服・夏服がある。冬服:男女ともダークブラウンのブレザーに襟には、「Y」の文字が入ったピンバッジ、水色のシャツに、グレーのベストを着用。女子のスカートは、紺と基調としたチェック柄、男子は、ダークグレーのスラックス。夏服:男子は水色の半袖シャツに紺色のスラックス、女子は薄いピンクにチェックが入った半袖のブラウス・紺色のスカート。シャツの襟は、ボタンダウン。		



## 竹田南高等学校

### 【建学の精神】

幸福な人間をつくる（社会で生きる力）

### 【ビジョン】

#### 人間教育の竹田南

生徒と職員が誇りを持って邁進する高校

定員100名の確保

### 【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

- 1 寮の改革（全寮制も視野に入れる）
  - ① 実社会を生きるための基礎力をつける  
基本的な生活習慣・社会スキルを身につける
  - ② 食育による健康作り（地元食材を使った手づくりの食事の提供）
  
- 2 人間力をつける生徒指導の強化
  - ① 礼儀、挨拶、マナー指導 あいさつの日常化
  - ② 目標に向かってやり抜く力をつける 実習と部活動（野球）
  - ③ 地域と連携したボランティア活動で竹田市内3カ所の川の水生生物調査を20年継続実施
  
- 3 「7つの習慣J®」の教育プログラムの導入
  - ① ファシリテーターによる授業の特設（週1時間）  
（キャリア教育につなげる）  
7つの習慣を教育プログラムとし、「なりたい自分」を目指して主体的に学ぶ習慣をつける
  - ② チャレンジカップへの挑戦
  
- 4 アクティブ・ラーニングの導入
  - ① 主体性・協働性の日常化（学習の習慣を身につける）
  - ② 主体性を育てる授業改造（学力の向上を図る）
  - ③ 学習評価の見直し（学習者の特性を考えた評価）

# 基本情報

学校名	竹田南高等学校		
学校法人	学校法人稲葉学園		
設立年月日	大正5年4月7日 竹田女学校設立 昭和37年8月25日 高等学校設置認可		
理事長	理事長 平野 孝光		
校長	校長 土崎 谷夫		
施設	敷地面積	10,128 m <sup>2</sup>	設備
	建築面積	3,580 m <sup>2</sup>	
	「男子寮」「女子寮」完備		
	エアコン完備		
生徒数 (平27.5.1現在)	138 名		
学科・コース	全日制 普通科 (普通コース)(まなびやコース)(単位制コース)		
建学の精神等 (校訓)	幸福な人間をつくる		
特色	不登校生徒や発達に特性のある生徒などを地元及び全国各地から受け入れて 社会でより良く生きるための人間教育を行っている。 来年度より「7つの習慣J®」を教育プログラムとして取り入れ「主体的に学ぶ習慣をつける」 ための教育モデルをつくりだす		
教育活動	寮及び下宿生活を通じて、生活の立て直しと自立を目指す。 実習や校外活動及び地域活動を通して、社会性を身につけることを目指す 免許・資格・検定などに挑戦する アクティブ・ラーニングによる「自ら主体的に学ぶ」姿勢を身につける		
クラブ活動等	<b>軟式野球部を中心にスポーツの振興</b> 陸上部 卓球部 バドミントン部 剣道部 弓道部 バレーボール同好会 バスケットボール同好会 サッカー同好会 <b>新聞部 弁論部を中心に文化の振興</b> 書道部 図書研究部 太鼓同好会 神楽同好会 2次元同好会 茶道同好会 手作り同好会 華道同好会 音楽同好会 園芸同好会 珠算同好会		
制服	男子 学生服 女子 ブレザー		

○大分県私立中学校・高等学校の開校年等

年	学 校 名	設置者（学校法人）
明治32年	扇城女学校 （現東九州龍谷高等学校）	学校法人 扇城学園
明治33年	大分裁縫伝習所 （現岩田高等学校）	学校法人 岩田学園
明治41年	豊州女学校 （現明豊高等学校）	学校法人 別府大学
明治43年	柳ヶ浦裁縫女学校 （現柳ヶ浦高等学校）	学校法人 吉用学園
大正5年	竹田女学校 （現竹田南高等学校）	学校法人 稲葉学園
昭和2年	城南女学校 （現福德学院高等学校）	学校法人 城南学園
昭和14年	日田家政女学校 （現昭和学園高等学校）	学校法人 岩尾昭和学園
昭和21年	別府高等技芸学校 （現別府溝部学園高等学校）	学校法人 溝部学園
昭和22年	後藤簿記・珠算塾 （現楊志館高等学校）	学校法人 後藤学園
昭和23年	大分外国語専門学校 （現大分高等学校）	学校法人 大分高等学校
昭和25年	日田高等経理学校 （現藤蔭高等学校）	学校法人 日田佐藤学園
昭和29年	平松商業高等学校 （現大分東明高等学校）	学校法人 平松学園
昭和30年	佐伯産業高等学校 （現日本文理大学附属高等学校）	学校法人 文理学園
昭和31年	九州電波専門学校 （現大分国際情報高等学校）	学校法人 渡邊学園
中 高 一 貫 校		
昭和58年	岩田中学校・高等学校	学校法人 岩田学園
平成11年	明豊中学・高等学校	学校法人 別府大学
平成18年	大分中学校・高等学校	学校法人 大分高等学校
平成18年	向陽中学校・大分東明高等学校	学校法人 平松学園